

## 令和5年度都立世田谷総合高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・言語感覚の向上 ・伝え合う力の向上	・教科会での指導内容の確認共有 ・各科目での小テストの実施 ・計画的な班活動、発表活動の実施	・漢字能力検定試験の校内実施 ・大学等の小論文コンクールへの参加 ・全員参加のビブリオバトルの実施
地理歴史	社会的な見方・考え方を働かせた活動	・4月の教科会等で、指導計画について各教員が情報を共有する ・主体的に課題に取り組み、解決に向かう力を身に付けさせるため、年間をととして3回以上探究活動を実施	・教科を越えた教員相互の授業参観の実施 ・年間をととした教科内研修の実施と授業改善
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	・自ら積極的に課題を見出し、探究活動に取り組む姿勢を育む教育計画の作成。 ・主体的に課題に取り組み、解決に向かう力を身に付けさせるため、年間をととして3回以上実験、観察等を実施。	・教科を越えた教員相互の授業参観の実施 ・授業の進行に合わせた実験、観察の工夫と実践 ・一人1台端末を活かした調査や実験データ整理の取り組み
数学	基礎基本となる「知識・技能」の習得の充実	・定期的な演習課題を課し、学校外での学習習慣の確立と反復演習による定着度向上 ・問題解決の過程の重要性を理解させるため、解き直しや教え合いの活動の充実	・デジタル教科書やICT端末の活用による、生徒の基礎学習力の向上
公民	社会的な見方・考え方を働かせた活動	・4月の教科会等で、指導計画について各教員が情報を共有する ・主体的に課題に取り組み、解決に向かう力を身に付けさせるため、年間をととして3回以上探究活動を実施。	・教科を越えた教員相互の授業参観の実施 ・年間をととした教科内研修の実施と授業改善 ・一人1台端末を活かした取り組みを実施
保健体育	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続すること	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
芸術	豊かな感性育成と基礎的な技能を身に付けさせる指導の充実	・講評会、常設文化祭等での作品展示にて他者の主題・表現の鑑賞機会を設ける・自己・地域・社会について考えを深める課題設定・授業間の情報共有、課題把握	・進学希望者に対する実技指導、ポートフォリオ制作指導・本校ならではの設備や専門性を生かした授業の実践
英語	・基礎的な語彙の習得の充実 ・「書くこと」の指導の充実	・各Lesson毎に英作文を実施 ・4月の教科会で生徒の3年間の数値的到達目標を共有 ・1・2年生の英検全員受験（年一回） ・単語アプリの活用	・ライティングを適切に評価するためのコレクションコードの作成と活用
家庭	「自分の考えを表現する」指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・高大（専）連携、外部講師の活用を行い知識技術力の向上、他者へ伝える場面を設ける。 ・問題解決の過程において、自己・地域・社会を意識した考察活動を授業で実施。	・フードデザイン・家庭科探究・保育ⅠⅡで専門家や上級学校と連携し、プレゼン活動を活発に行い実践的な力を養う。 ・自己理解・他者理解（地域・社会）をとして、課題を発見し、解決する方法を考察しながら自立に向け学習していく。
情報	・日進月歩する情報社会について科学的に学び、活用する態度を身に付ける。	・最新の教材の研究と開発 ・M365の有効活用。（課題配信）	・専門教科にて、自分にとっての必要な情報の収集とそれらの活用する能力。 ・情報を正しく発表、発信する能力。
商業	商業の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な学習	・現代市場の仕組み、役割及び企業活動等に関する学習	検定試験の受験、合格
工業	「ものづくり」を踏まえた学習活動の充実	作品の設計や機械の操作などの技能を学び、ものづくりの大切さ・喜びを味わい、技能の継承と発展を図る意欲的な態度を養う取り組み。	コンピュータを活用し巣地制御の基本を理解させ、CADやレーザー加工機などの技術を習得させる取り組み。